

## ▼ウゴビー皮下注 SD [注]

【重要度】 【一般製剤名】セマグルチド（遺伝子組換え） Semaglutide（Genetical Recombination） 【分類】肥満症治療剤 [持続性 GLP-1 受容体作動薬]

【単位】 ▼0.25mg・▼0.5mg・▼1.0mg/0.5mL, ▼1.7mg・▼2.4mg/0.75mL

【常用量】 0.25mg から開始, 4 週間の間隔で漸増, 最大 2.4mg/週 [適宜減量]

【用法】 週 1 回 同一曜日に皮下注 [曜日変更は 3 日以上あける]

【透析患者への投与方法】 常用量 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (1)

【特徴】 GLP-1 アナログ（アミノ酸置換）で、GLP-1 受容体と選択的に結合する作動薬として作用。食事摂取の恒常的調節に関与する脳領域である視床下部及び視床核に直接作用して食欲を抑制。肥満症のうち、高血圧、脂質異常症、または 2 型 DM のいずれかを有し、食事療法・運動療法を行っても十分な効果が得られない、BMI 27kg/m<sup>2</sup> 以上かつ 2 つ以上の肥満に関連する健康障害を有するか、BMI 35kg/m<sup>2</sup> 以上の例に適用。

【主な副作用・毒性】

【安全性に関する情報】

【F】

【tmax】

【代謝】

【排泄】

【t1/2】

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】 4113.58

【透析性】

【OW 係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【備考】凍結を避け冷蔵庫（2～8℃）に保管（1）

【更新日】 20230328

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。